

Peach で行く！旅コンテスト サマリー

- ・タイトル : ジブリの世界、九份を味わう旅 ～Peach を使った旅の提案～
- ・日程 : 8月20日
- ・目的地 : 台北
- ・なぜその場所にしたのか : ジブリ映画『千と千尋の神隠し』の世界観を味わうため
- ・誰と : ジブリ好きの友人
- ・魅力的な旅のポイント : 映画の中で、主人公の千尋がトンネルを抜けた後の不思議な町の雰囲気を堪能することができる。

PLAN 内容(移動手段・時間)

往路

南草津(5:22)→関西空港(8:40)→台北空港(10:55)→九份(12:25)

電車 飛行機 高速バス

往路

九份(16:10)→台北空港(18:30)→関西空港(22:41)→南草津(00:49)

高速バス 飛行機 電車

PLAN 内容(行く場所と説明)

- ・九份【4時間】
- ③ 九份散策【1時間】
- ②阿妹茶酒館(アーメイチャージウグァン)にてお昼ごはん【1時間半】
- ③金瓜石(キンカセキ)散策【1時間】

他の交通手段との比較

交通手段	交通費 (LCCとの差 円)	滞在時間 (LCCとの差 時間)
LCC(Peach)	27,830	8時間
FSC	39,670 (+11,840)	4時間40分 (-3時間20分)

優位性比較ポイント：交通費、滞在時間

ジブリの世界、九份を味わう旅 ～LCC を使った旅の提案～¹

村中 佑衣²

1、はじめに

本論文の目的は、近年日本での発展がめざましい低コスト航空会社(以降 LCC と表記)³の優位性に着目し、その優位性が立命館大学経済学部⁴の学生にも適用できるか否かを、Peach・Aviation 株式会社(以降 Peach と表記)を使った魅力的な旅を提案することにある。

フルサービスキャリア(以降 FSC と表記)⁴では展開できなかったコスト削減によって可能となった低価格競争は、航空業界において大きな変革をもたらした。例えば、基本サービスの簡素化をベースとした機内における食事の有料化などによるコスト削減である。この改革を主導した LCC は、特に時間短縮という飛行機の優位性に、低価格という新たな優位性を付け加え、利用者を大幅に増加させた。その結果、航空機の利用者は近年、欧米だけではなく日本国内においても飛躍的に伸びている。実際、2012 年に日本初の LCC として運航を開始した Peach の累計搭乗者数は、2014 年 4 月 28 日時点で 500 万人にもものぼるため、移動手段の選択肢として無視できない存在である。

本論文では、LCC の特徴である「価格」と「移動時間」、それぞれの航空会社によって差異のある「滞在可能時間」の優位性が立命館大学経済学部⁴の学生にとっても当てはまるか否かを、Peach を利用した台北旅行の提案を通して、料金と時間の比較だけでなく、この 2 つの要素をもとに、消費者である学生がどのような選択をするのかを分析するために、立命館大学の 2 つの基礎演習クラス合計 48 人にアンケート調査を実施し、それをもとに考察する。その結果、日帰りの場合であると、移動時間の面では大きな違いが見られないものの、費用において LCC は FSC と比較すると大幅に削減することができることがわかった。また、他社の LCC とも滞在時間で比較すると Peach を利用する日帰りプランの場合は、より多くの長い時間を現地台北で過ごすことができるとわかった。

¹ 本稿の執筆に対し、演習Ⅱの指導教官である大野敦先生、大野隆先生、黒川清登先生により多くの貴重な指摘をいただきました。記して深く感謝申し上げます。なお、本稿におけるすべての過誤は筆者の責任です。

² 立命館大学経済学部国際経済学科 3 回生(大野敦ゼミ) ec0341ks@ed.ritsumeii.ac.jp

³ LCC とは、Low Cost Carrier の略称であり、格安航空会社とも呼ばれる。しかし、本論文では、より正確に低コスト航空会社と表記する。

⁴ FSC とは、Full Service Carrier の略称であり、レガシーキャリアともよばれる。日本では全日空、日本航空などである。

また、2泊3日の場合においては他社のLCCであるジェットスター・ジャパン株式会社(以降、Jetstarと表記)を利用するパックスターと比べてPeachを利用した旅行は、滞在時間は長いものの、費用においては優位性をもっていなかった。しかし、日帰り1泊2日、2泊3日どちらの場合も、LCCの優位性を活かした旅行プランを提案できることが明らかとなった。

論文の構成は次のようになっている。第2章では、Peachを含んだLCCの現状と優位性について考察する。第3章では、本論文で提案する旅行プランを日帰り、1泊2日、2泊3日の3つの場合において、ほかの交通手段と比較しLCCの優位性を検討する。第4章では、まとめと今後の課題を述べる。

2、LCCの方向性

本章では、LCCの現状と、その中でのPeachの展開について考察を行う。

2.1 LCCの現状

表1は、国際・国内線の航空旅客数のランキングを表している。表1から明らかなように、FSCの中に、LCCのライアンエアが6位に割りこんでいる。また、表2の国際線ではこのライアンエアが2位のルフトハンザドイツ航空と約2877.2万人の差をつけて1位である。さらに、3位のイーজেージェット、8位のエアベルリンなど、数多くのLCCが10位以内に入っている。表3の国内線における利用者は、LCCであるサウスウエスト航空が約1752.2万人の差をつけ1位である。国内線、国際線でLCCが1位を占めていることから明らかなように、コスト面においてFSCと一線を画したLCCは高い需要をもっていることを理解することができる。

日本におけるLCCの展開は、スカイマークやAir Doに始まり、近年は、Peach、Jetstar、Vanilla Airなどが新たに就航している。Air Asiaのように、参入したにも関わらず、撤退したLCCもあるが、LCCの利用者は着実に増加している⁵。日本に目を向けてみると、2012年度のLCC総搭乗者数は前年比1.46倍の126万名であった。さらに、LCCは国内線にとどまらず、国際線にも進出し、既存のFSCにとって、さらなる脅威となっている。

⁵ 2014年4月10日に、マレーシアのLCC大手「エアアジア」のトニー・フェルナンデス最高経営責任者が2015年をめどに新たな合弁会社を設立し、日本の航空市場に再参入することを表明した。

【表 1 挿入】

【表 2 挿入】

【表 3 挿入】

2. 2 Peach について

本節では Peach について簡単な考察を行う。Peach は関西国際空港をベースとし、ANA などの全日空株式会社によって誕生した LCC である。2008 年 1 月 16 日、ANA 内にアジア戦略室を設立した後、2011 年 5 月 24 日に新ブランド「Peach」を発表し、2012 年 3 月 1 日に Peach 初の関西、福岡線就航を開始した。

Peach の運航実績は定時出発率 89%、就航率 99%(2012 年実績)であり、既存の FSC と遜色ない高い水準を誇っている。その上、搭乗前・機内に関するサービスに対する様々な費用削減の工夫を施し、運航費以外のコスト削減を行った。例えば、サービスを選択制にすることで経費の節減に務めた。また、Web を通じた予約購入だと手数料がかからないが、コールセンター・窓口を利用すると有料となる。さらに、サービスを簡素化する代わりに、食事の有料化・座席指定の有料化など、様々なサービスも有料化している。その結果、運航上の信頼性を保ったまま、サービスを選択制にすることでコスト削減が実現し、低価格が可能となった。この戦略は成功し、2014 年 4 月に発表された、Peach の累計搭乗者数は 500 万人を突破し、平均搭乗率 85%台(2014 年度)となっている。その結果、就航地も最初の関西-札幌、関西-福岡就航地から徐々に機材導入とともに増加し、現在は 2014 年 7 月に国内線 10 路線、23 往復(1 日)の規模となっている。更に、Peach は、国際線にも拡大し、国際線 6 路線延べ 10 往復(1 日)が就航している。

2. 3 LCC の優位性

ほかの交通手段である、FSC に比べて LCC の優位性はなんだろうか。本節では LCC の優位性を、移動時間と価格に着目して考察する。⁶

LCC は、飛行機という点から明らかなように移動時間の短さで FSC にも劣らないことが容易にわかる(表 4 参照)。例えば、関西国際空港(以降 KIX と表記)から台北に

⁶ 本節では、交通機関そのものの運賃と移動時間のみを比較する。

向かう場合、既存航空会社(ANA)の場合1時間55分かかり、LCCであるPeachを使った場合、1時間50分であり、時間の差異はわずか5分であるため、相対的な優位性があるとはいえない。しかし、費用の面においてはKIXから台北の間にかかる費用は既存航空会社(ANA)の場合、往復25,350円であるが、Peachを利用した場合、25,035円である。よって、移動時間においては相対的な優位性がみられる。LCCは移動時間の面でFSCとの大きな差異は見られないが、価格の面で見ると絶対的にLCCの方が安い。費用の縮小を評価する層に、LCCの訴求率が高いと考えることができる。

【表4 挿入】

3. Peachを使った旅プラン

本章では、前述で述べたようなLCCの優位性が、立命館大学経済学部の学生に適応出来るか否かを、Peachを使った魅力的な旅を提案にすることを通じて考察する。なお、BKCに通学している生徒が誰でも行けるようにする為、今回のモデルケースはJR南草津駅を発着地とし、以下のような台北旅行のプランとする。(3.4参照)また、Peachが他社のLCCであるJetstarにも負けない優位性をもつプランを考えるために、本節ではPeachの優位性を、費用と滞在時間に注目して考察する⁷。そこで、Peachの優位性が確保されるのかを日帰り、1泊2日、2泊3日の3パターンで検証する。2泊3日の場合は、バック旅行との比較が可能になるため、料金と時間の比較だけでなく、この2つの要素をもとに、消費者である学生がどのような選択をするのかを分析するために、立命館大学の2つの基礎演習クラス合計48人にアンケート調査を実施した。

3.1 Peachの優位性について(日帰り)

日帰りの場合、JetstarはKIX-台北間の到着時刻が現地時間16:55で、出国時刻が12:45の便のみなので1日で往復ができない。また、『2.3 LCCの優位性』の表4で示したようにFSCのプランは費用の面で表5に示すように、Peachを利用したものは23,350円でチャイナエアライン(FSC)を利用したものは136,660円であることからPeachに優位性があり、また、滞在時間もよりPeachの方が8時間、FSCであるチャイナエアライン(FSC)を利用したものが5時間10分でFSCより滞在可能時間が2時間50分ほど長いので、日帰りの場合はPeachに優位性があると考えられる。

⁷ 本章では、交通機関そのものの運賃と滞在時間を比較する。

【表 5】

3. 2 Peach の優位性について(1泊2日)

1泊2日の場合、表7からわかるようにPeachを利用したプランでは費用面においてはPeachを利用するプランが37,825円⁸、Jetstarでは46,525円⁹とPeachは8,700円ほどJetstarプランより安く、滞在時間も8時間30分ほど長く滞在することができる。よって、滞在時間どちらの面においてもPeachに優位性があるといえる。

【表 6】

3. 3 Peach の優位性について(2泊3日)

本節ではPeachの優位性が2泊3日の場合にも、他のLCCに劣らず優位性が確保されるかどうか検証する。また、ホテルは同一のレオフーレジデンスであり、表7はPeachを利用したツアー、表8はJetstarを利用した立命館大学のCO-OPパックツアーの概要である。

【表 7】

【表 8】

このそれぞれのツアーの特徴を表9に記した。Peachはコストの面で、52,300円でJetstarの32,840円よりも費用が高いが、Peachの滞在時間は55時間50分でJetstarは45時間50分なので10時間長い。

【表 9】

そこで立命館学生が滞在時間の長いツアーに対して優位性を感じるのか、低コストのツアーに優位性を感じるのか表7、表8どちらのツアーで旅を行いたいのか48名にアンケート調査において、調査すると、表10という結果になった。

⁸ 航空代金23,825円+ホテル(レオフーレジデンス)代金14,475円の合計

⁹ 航空代金32,050円+ホテル(レオフーレジデンス)代金14,475円の合計

【表 10】

表 10 から見て分かるように、表 7 の Peach を利用するツアーが 13 名 (37%)、表 8 の jet star を利用したパックツアーが 35 名 (63%) という結果になった。このアンケート調査によって立命館学生は滞在時間よりも、より低コストのプランに反応することがわかる。よって 2 泊 3 日の場合 Peach はその他の LCC に対して優位性は低いと考える。

3. 4 旅プラン

本論文で提案する旅プランは、日帰り、1 泊 2 日、2 泊 3 日で他社の LCC よりも Peach に優位性があるものを提案する。よって、Peach に優位性があるものは、日帰り、1 泊 2 日の 2 パターンである。しかし、1 泊 2 日の Peach のプランは、2 泊 3 日の Jet star の立命館大学の CO-OP パックツアーと比較すると価格と滞在時間両方において優位性がない。Peach を利用した日帰りのプランでは、1 泊 2 日と 2 泊 3 日の宿泊プランより価格は低く、日帰りの FSC よりも滞在時間も長いため魅力的である。よって、以下のような旅プランを提案する。

本論文で提案する旅プランは、台北の九份という街を見学することを目的とし、2014 年 8 月 20 日の 5 時 22 分に南草津を出発し、MM023 便を用い、日帰りで MM028 便を使い、0 時 49 分に南草津駅に戻る旅である。そのための交通費は、往復で 27,830 円である。内約の結果は以下のとおりである。南草津から関西空港までが往復 4,480 円、そして今回利用する Peach の航空代 23,350 円 (行き ¥10,380、行き税金・航空使用料 ¥1,540、帰り ¥10,380、帰り税金、航空使用料 ¥1,050)¹⁰ となった。また、あわせた移動時間は 5 時間 10 分であった。

¹⁰ 添付資料参照

1 日目

南草津駅発(JR)	5:22
関西空港着	7:39
関西空港発(MM023)	8:40
台北空港着	10:30
台北空港発(高速バス)	10:55
九份着	12:25
九份発(高速バス)	16:10
台北空港着	17:40
台北空港発(MM028)	18:30
関西空港着	22:10
関西空港発(JR)	22:41
南草津駅着	00:49

4、おわりに

本稿では、LCC の特徴である「価格」と「移動時間」、それぞれの航空会社によって差異のある「滞在可能時間」の優位性が立命館大学経済学部の学生にとっても当てはまるか否かを、Peach を利用した台北旅行の提案を通して考えた。その結果、交通手段として LCC を利用することで、FSC と比べると移動時間には大きな優位性は見られなかったものの、費用において大幅にコストの縮小した旅行プランを提案できることがあきらかになった。この LCC の利点を旅行の計画をする際に考慮に入れるならば、旅行における低コストを実現したいとい考える学生にとって、LCC はかなり魅力的な交通手段であるといえることができる。

しかし、本論文で行ったアンケート調査において 2 泊 3 日の Jet star を利用した立命館大学の CO-OP パックツアーと比較したとき、Peach のプランは 1 泊 2 日、2 泊 3 日どちらにおいても優位性を失ってしまうことがわかった。また、2 泊 3 日の Jet star を利用した立命館大学の CO-OP パックツアーにおいて価格が安いというもの以外に関して、多く見られた意見である朝食が付いていること、現地係員が最終日ついてくれることで航空へのアクセスの容易さ、ツアーが組んでであると自分で組むより選びやすいなどが挙げられた。より優位性を確保するためには、日帰り以外の今回検証した 1 泊 2 日、2 泊 3 日などの宿泊旅行へのアプローチがとても大切である。よって、Peach が夏季長期休暇や春季長期休暇などまとまった休みの多い立命館学生にとってさらなる、学生旅行の手段として他社の LCC 以上に Peach が浸透するためには、今後は旅行会社と提携した海外旅行のこのようなパックツアーを増やし、さらに学生にとって優位性のあるツアーを提案していく必要があると考える。

最後に本論文に残された課題として、大規模なアンケート調査があげられる。本論文では 2 泊 3 日の旅行プランにおける価格と滞在時間の効用に関してのアンケート調査はできた

ものの、宿泊数がより長い旅行ツアーを提案した場合、結果は大きく変わっていくと考える。よって、さらなる大規模なアンケート調査を利用して考察することが、今後の課題である。

参考文献

- 『コトバンク』最終閲覧日 2014.06.25
<http://kotobank.jp/>
- 『IATA Scheduled Passengers Carried』最終閲覧日 2014.06.25
<http://www.iata.org/publications/pages/wats-passenger-carried.aspx>
- 『Peach 8/20 と 8/21、8/22 運航料金』最終閲覧日 2014.6.27
<http://book.flypeach.com/default.aspx?ao=B2CJAJ&ori=KIX&des=HKG&dep=2014-08-20&ret=2014-08-21&adt=1&chd=0&inf=0&langculture=ja-JP&bLFF=false>
- 『日本初の LCC として就航 1 周年を迎えました』Peach 最終閲覧日 2014.06.20
<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130301-Press-Release-J.pdf>
- 『累計ご搭乗者数が 300 万人を突破!』Peach 最終閲覧 2014.06.23
<https://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130917-Press-Release-J1.pdf>
- 『国際・国内線で最も旅客数の多い航空会社ランキング』最終閲覧 2014.06.22
<http://flyteam.jp/news/article/25333>
- 『Jetstar ホームページ』
<http://www.jetstar.com/jp/ja/home> 最終閲覧 2014.06.25

順位	航空会社名	旅客数(千人)
1	デルタ航空	116726
2	サウスウエスト航空(LCC)	112234
3	ユナイテッド航空	92619
4	アメリカン航空	86335
5	中国南方航空	86277
6	ライアンエア(LCC)	79649
7	中国東方航空	79611
8	ルフトハンザドイツ航空	64393
9	US エアウェイズ	54238
10	エールフランス空港	50636

表 1: 定期旅客便の搭乗者ランキング(国際・国内総合)

順位	航空会社名	旅客数(千人)
1	ライアンエア(LCC)	79649
2	ルフトハンザドイツ航空	50877
3	イーजीージェット(LCC)	44601
4	エミレーツ航空	37733
5	エールフランス航空	33693
6	ブリティッシュ・エアウェイズ	31273
7	KLM オランダ航空	25775
8	ユナイテッド航空	24843
9	エア・ベルリン(LCC)	23179
10	トルコ航空	22381

表 2: 定期旅客便の搭乗者ランキング(国際)

順位	航空会社名	旅客数(千人)
1	サウスウェスト航空(LCC)	112234
2	デルタ航空	94712
3	中国南方航空	79529
4	ユナイテッド航空	67776
5	中国東方航空	67578
6	アメリカン航空	65057
7	US エアウェイズ	47883
8	中国国際航空	42551
9	全日空	38344
10	カンタス航空	35089

表 3: 定期旅客便の搭乗者ランキング(国内)

移動手段	価格	所要時間
LCC	安い	普通
FSC	高い	普通

表 4: 移動手段別の価格と所要時間の違い

	価格	滞在時間
Peach プラン	23,350 円	8 時間
チャイナエアライン (FSC) プラン	136,660 円	5 時間 10 分

表 5: 日帰りの優位性について

	価格	滞在時間
Peach プラン	37,825 円	32 時間
Jet star プラン	46,525 円	23 時間 30 分

表 6: 1泊2日の優位性について

3日間	スケジュール	食事
1	【8:40】関西空港発 ⇒ 【10:40】台北着 【ホテル】レオフォーレジデンス	朝× 昼× 夜×
2	台北滞在 フリータイム 【ホテル】レオフォーレジデンス	朝× 昼× 夜×
3	【18:30】台北発 ⇒ 【22:10】関西空港着	朝× 昼× 夜×

表7:Peach を利用したツアー 8/20~21 台北 55,495 円

3日間	スケジュール	食事
1	【12:30~14:55】関西空港発 ⇒ 【14:20~16:55】台北着 ホテル【スタンダードクラス・レオフォーレジデンス】	朝× 昼× 夜×
2	台北滞在 A:フリープラン【終日】フリータイム B:市内観光プラン(追加料金不要。昼食付) ホテル【スタンダードクラス・レオフォーレジデンス】	Aプラン 朝○ 昼× 夜× Bプラン 朝○ 昼○ 夜×
3	【午前】現地係員とともに空港へ 【12:45】台北発 ⇒ 帰国の途へ 【16:25】関西空港着	朝○ 昼× 夜×

表8:Jet star を利用した立命館大学のCO-OP パックツアー 32,840 円(6/1 現在)

8/20~21 台北 24,800 円+燃油サーチャージ+国内航空施設使用料及び海外空港諸税

	価格	滞在時間	食事
Peach ツアー	52,300 円	55 時間 50 分	なし
Jet star ツアー	32,840 円	45 時間 50 分	3、4 回付

表 9: ツアーの特徴

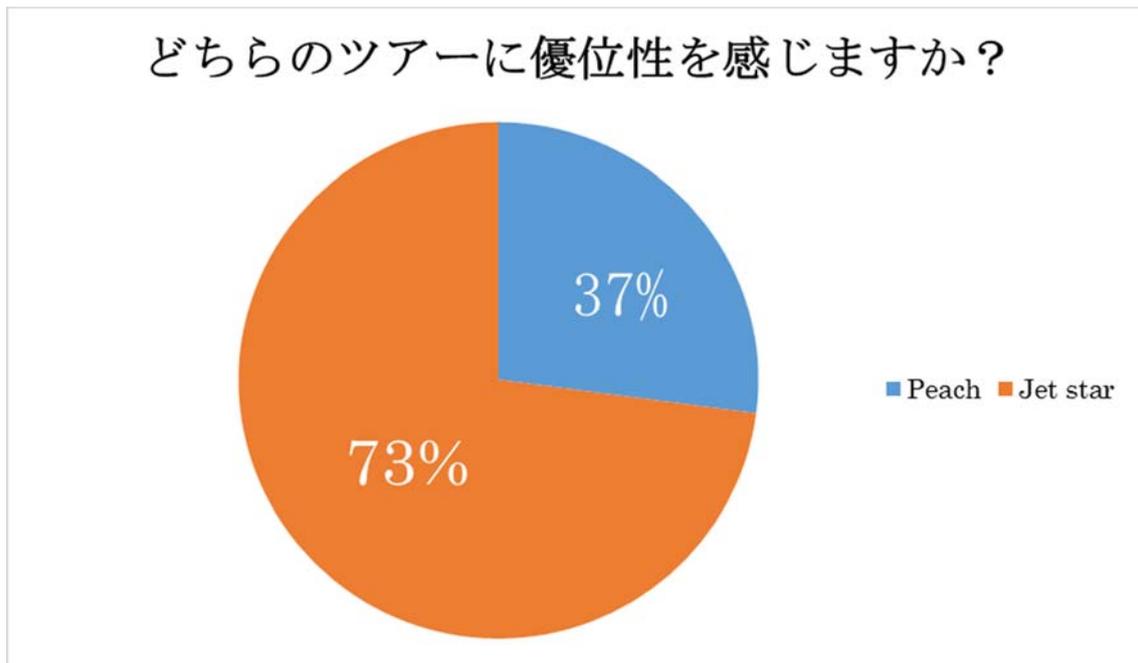


表 10: 立命館大学生 48 人へのアンケート調査